

現場を見せることを基本とした作業所方針の周知



**1第三吾妻川橋梁作業所の安全衛生方針について**

①誰が見ても「きれいだ」と誉められるような作業環境を造りましょう。  
 「工事現場は隠すところではなく、ものを造るところを積極的に見せる場所だ」という認識を持ってください。そのためには整理・整頓は基本ですし、服装や作業態度も大切になります。  
 (施主や国交省そして地元の方々も大変興味をもって、日々めがね橋から見えています。)

②完成後に自慢できるような、良い品質の橋を、無事故で造りましょう。  
 土木工事のなかでも橋の工事は恵まれていると思います。施工途中から完成後でも、家族に「お父さんが作った橋だよ」といって自慢することが出来ます。しかしながらその橋が不具合だらけで問題になったり、自分や仲間がその工事で事故に遭っていたのでは自慢になりません。

全員がプロとしての自覚とプライドを持って仕事をしましょう!!

現場全体が見渡せる場所(並走する国道の橋梁「通称めがね橋」)に説明看板を設置

